

働く女性  
たちからの  
メッセージいきいき  
仕事も生活も会員企業で活躍されている女性社員の方々のキャリア、  
働く上で心がけていること、仕事と生活の両立の知恵などをご紹介し  
ます。  
企業の女性活躍推進のヒントが見つかるかも知れません。大瀧 瑞枝さん  
静岡銀行株式会社  
島田エリア・エリアFP（ファイナンシヤ  
ル・プランナー）担当1993年入行。営業店で内部業務  
を一通り経験し、窓口での営業  
セールスを長年積み重ねる。  
3年前にエリア店（4店舗）のFP  
担当となる。主に個人のお客様  
の資産運用や相続対策の提案を  
行っている。

## ● 感謝の心

銀行員生活の中で一番の転機となったのは、子供を産  
んでからも仕事を続けられるかどうかでした。当時の支  
店長に、「いろんなことを考えだしたらさりがいいよ。自  
分の人生なんだから、まずは自分の気持ちが一番に考え  
なさい。」と言って頂き、仕事を続けることを応援してく  
れました。仕事にやりがいを感じるようになったのは、意外にも  
子育てが一番大変だった時期からでした。母親になって、  
お客様との会話の中で共感できるものが増えました。働  
くということは社会に貢献すること、お給料を頂く大変  
さ、自分自身が成長できる場所がある、少しずつでも子  
供に伝えられたらと思います。今後、自分の経験を生かし、後輩の良き相談相手とし  
て役に立てるような先輩でいたいと思います。当行の企業理念のひとつ  
に「感謝の心」があります。こ  
れまでの私を支えていただい  
た全ての方々に感謝をし、こ  
れからも職場の仲間やお客  
さまとの心のふれあいを大切  
にしていきたいです。古園 ゆかりさん  
株式会社山形屋  
紳士服統括部販売部第3係  
アシスタントマネージャー1986年入社。  
メンズキングサイズ、カジュアル  
ウェア、ショップマスターなど担  
当後結婚、3児の母。  
2008年9月より現職。

## ● 明るく楽しくいきいきと

入社してこれまで多くの人のお世話になり助けられて  
きました。何より人との出会いのある仕事に感謝してい  
ます。仕事のことはかき考えていた20代、私に影響をく  
ださったのはお客様です。私にありがとうを伝えたくて、  
開店と同時に来店くださったお客様もいらっしゃいまし  
た。お客様に喜んでいただくことがこんなに嬉しく幸せ  
な気持ちになれるということを教えていただきました。  
出合いのたびに、私は育てられたように感じます。育児短縮勤務からフルタイム勤務に戻った1年は仕事  
と家庭のバランスがとれませんでした。そんな時「俺も  
変わらなげや」主人の一言に救われました。主人は以前  
よりもサポートをしてくれ、  
感謝する毎日です。明るく楽  
しく生き生きとしていること  
をお世話になった方々への恩  
返しと思い常に心掛けていま  
す。職場ではお互いに努力や  
実力を認めることで人間関係  
が保たれ、組織やチームの円  
滑な運営が生まれ向上するこ  
とを信じ仕事をしています。伊藤 美智子さん  
二ス力株式会社  
知的財産部 知的財産課 主任1985年入社。  
2ヶ月の現場研修を経て、設計開  
発部門に配属となる。  
その後、現部署に異動となり現在  
に至る。

## ● 喜び、成長そして挑戦

私の職場は、知的財産を取り扱う部署で特許出願・権  
利化、特許調査、技術契約を行っています。男性6名、  
女性4名の10名から成り、性別に関係なく活躍できる職  
場です。その中において、主に意匠・商標と特許図面作  
成を担当しています。発明者の製品に対する熱い思いを  
考えますと、大きなプレッシャーを感じることもありま  
す。しかし、ひとつの知的財産を創り上げる仕事は喜び  
であり、やりがいもあります。現在の上司は常に「使命」について部員に語り、そし  
て問います。そのせいか、仕事やプライベートにおい  
ても考え意識するようになり、人としての幅が少し広が  
った気がします。「経験や感動は人を成長させる」と言  
いますが、それを実感させてく  
れるのも今の職場です。以前読んだ詩の中に「人生  
はひとつの挑戦。人生を受け  
て立ちなさい。」という言葉  
があります。この言葉を胸に、  
これからも仕事や自分自身に  
挑戦しながら日々新たに励ん  
でいきたいと思っています。

## 野瀬 麻里子さん

住友電気工業株式会社  
大阪製作所 人事総務グループ



### ● 信頼される人材を目指して

主に工場に勤務する社員の人事異動や教育、労務管理等を担当し、個別の相談から人員調整まで様々な業務を行っています。感情のある「人」に対応するため、難しい判断も多く、悩むことも多いのですが、問題を解決できた時に相談者から笑顔で「ありがとう」と言われた時が一番ホッとでき、自信につながる瞬間です。

入社3年目の頃、突然の労務問題に悪戦苦闘したり、担当者や工場部門に指示を出す立場となり、大変なプレッシャーを感じ、失敗しては落ち込んだ時期もありました。しかし、先輩・上司を初め、同僚や担当する工場の方々にも助けられ一つ一つ課題を解決していく事ができました。困ったときに周囲の協力を得られるからこそ良い仕事ができるかと学び、日頃からクイックレスポンスと笑顔を心がけ、信頼関係の構築に努めています。これからも自分の個性を大切にしながら、周囲から信頼される人材であり続けることを目指し、業務に取り組んでいきたいと思えます。



2006年4月入社(5年目)。本社の人事総務部労政グループを経て、2008年7月より現所属にて勤務。現在は労政関連業務及び、光ファイバーケーブルと光・電子デバイスを製造する2工場の人事労務担当。

## 増田 梓さん

新日鉄エンジニアリング株式会社  
マネジメントサポートセンター総務部  
人事室



### ● 「挑戦」楽しい」と 気づかせてくれた職場に感謝!

私は一般事務職として入社し、現在入社8年目になります。今まで様々な人事業務(勤務・採用・研修など)を担当し、今年の7月から女性活躍推進活動の取り組みに携わっています。

一般事務職はルーティン業務や庶務業務の占める割合が多いため、モチベーション維持は課題の一つです。幸いにも私が入社以来モチベーションを維持できたのは、少々辛い事があっても「一緒に頑張りたい!」と思える職場の仲間存在、そして周囲からの期待があったからです。例えば、全国の採用イベントへの出張、多くの学生前でプレゼンテーション等の経験は、「思いきって任せてくれた周囲の期待に応えたい!」という気持ちが大きな原動力となりました。その時少し背伸びをして頑張った経験は、その後の会社生活に活かしていると思えます。

当社の課題の一つは、一般事務職の業務そのものをより面白く、やりがいのあるものにする事。そのためには、配属先に因らず、チャンスが平等に与えられるような職場風土作りが必要だと思っています。



2003年、新日本製鐵(株)へ入社。  
2006年エンジニアリング部門が独立分社し、新日鉄エンジニアリング(株)へ移籍。入社以来、一貫して人事業務に携わる。